

# 政を問う



橋元 孝一 議員

## 農業経営安定対策を

### 市長／水田裏作の作付け助成を検討する

**橋元孝一議員** 本市の水

田3,498ha、畑62,360haであるが、農業委員会の調査で遊休農地が約100haである。荒地の把握はしているか。  
**池田市長** 平成20年度は国からの通知を受け、農業技術員連絡協議会の協力を得ながら、市内の



よみがえらせたい遊休農地

全耕作放棄地の実態を一筆ごとに調査・分類し、耕作放棄地解消計画の基礎データを作成する計画である。

**問** 本市水田で裏作に粗飼料のイタリアンを作付けできる面積はどのくらいあるか。

**市長** 平成20年度の水稲作付け面積は、曾於市全体で1,880haとなっている。この水田に対するイタリアンの作付けは条件もあるが、平成19年度実績は83haである。  
**問** 水稲の裏作にイタリ

アンを作付けできる水田を必要としている農家に<sup>あつせん</sup>斡旋することは考えられないか。

**市長** 農地の斡旋に関しては、農業委員会等を介して行うべきであると考

えている。

**問** 水田の裏作に作付けする種子代（イタリアン）の助成は考えられないか。  
**市長** 現在最も多く作付けされている品種のワセユタカの種子を含め、どの品種のイタリアンが最も効率的か調査するとともに、水田裏作におけるイタリアンの作付け助成について検討していきたい。

## 人口減と自治会未加入対策は

**問** 行政として何か対策をとられたことがあるか。

**市長** 未加入対策は、転入者については、市民課窓口で自治会長への連絡先を案内し、自治会へ加入して頂くようお願いしている。

また合併前の未加入者



自治公民館建設事業補助金で建設される公民館（末吉町鶴木）

名である。

**問** 本市の職員で自治会未加入者が何名いるか。

**市長** 自治会未加入者は現在21名いる。

**問** 市職員で本市に住所がなく、曾於市民でない職員は何名いるか。

**市長** 本市に住所がない職員は26人いる。末吉支所は16人、大隅支所は3人、財部支所は7人である。

には、未加入世帯加入促進補助金を交付し推進しており、総合的に対策を協議する内部組織を立ち上げることにしている。市全体の未加入世帯は3,329世帯である。

**問** 曾於市の教職員は何名で、曾於市に住所をおいている教職員は何名か。

**植村教育長** 現在小、中学校に329名の教職員がおり、市内に住所をおいている教職員は153



大津 亮二 議員

### 情報通信基盤の整備は

市長／テレビは受信できないところがないように対応したい。



地上デジタル放送中継局（財部町白鹿岳）

**大津亮二議員** テレビの地上デジタル放送化に伴い、新たに難視聴になる地域は。

**池田市長** 21地域640世帯が、新たに難視聴地域になる可能性があるが、受信アンテナの高性能化等により受信可能の予測はある。調査して受信できないところがないように対応したい。

**問** 地域インターネット基盤施設整備事業（※注1）の事業概要は。

**市長** 光ファイバーで公共施設接続を計画しているが、国はブロードバン

ド・ゼロ地域解消促進を図っており、県で促進事業に取り組んでいる。本市は県の促進事業を推進し、効率のよい安価なADSL（※注2）対応事業は効果が上がるものと考えている。ただ通信速度が低速であり、それ以上の範囲の解消を模索しなければならない状況である。

### 上町区画整理内の公園整備計画は

**問** 上町区画整理内公園整備計画について概要は。

**市長** 「上町にここに公

園」は、平成17年から19年度にかけて整備した。今後（仮称）麓公園と中道公園を整備の予定。

**問** 市民プール横の新地公園は平成21年度に計画されているが整備内容は。

**市長** 区画整理内を優先して整備中で、グラウンドゴルフ場等の運動広場や健康福祉施設等を含め、利用方法を検討したい。

**問** 公園の名称等について一般公募はしないのか。

**市長** 検討していきたい。

**問** 産業廃棄物安定型最終処分場建設計画（南之郷高岡地区）は、産廃処分場の建設計画の経過と計画概要は。

**市長** ㈱都城北諸地区清掃公社が来庁され、概要説明があった。設計書はまだ出来ていないが、面積約4万㎡で埋め立て容量約58万㎡を考えているとのことである。

また、地元高岡の産廃終処分場建設反対同盟から、建設反対に関する陳情書が出されている。

**問** 建設予定場所は安楽川上流になるが、曾於市への影響はないか。

**市長** がれき類の安定5品目の処分場であり、生活環境保全上支障を及ぼす恐れが少ないものとなっている。

しかし遮水工を設置せず水処理を行わない施設であり、排水が安楽川に流れることから影響がないとは言えない。

**問** 計画地は花房峡憩いの森や千年の森構想があり、この地への建設はイメージダウンとなり、千年の森構想の考え方に反するのではないか。

**市長** 自然環境に恵まれたこの地域を生かそうと整備したもので、「イメージダウンにならない」とは言えない。自然環境の保全や景観の維持等どのような影響を与えるか推移を見守りたい。今後地元の意向等十分配慮して意見を述べていきたい。

※注1・地域インターネット基盤施設整備事業 学校、図書館、市役所などを高速で接続する地域公共ネットワークを整備する事業

※注2・ADSL 電話線を使い、高速なデータ通信を行う技術



産業廃棄物安定型最終処分場計画（末吉町高岡地区）周辺地図

# 敬老祝い金は全員支給を

市長／議会が決定すれば  
その方向で検討する



五位塚 剛 議員

**五位塚剛議員** 敬老の日を迎えるにあたり、お年寄りの願いは、敬老の日に3千円ずつ頂いた方がありがたいと願っている。そのようにできないか。  
**池田市長** 合併協議会で決定されてきた。議会でも条例も予算も議決されてきたので、節目支給で進めていきたい。  
**問** 状況が変わり、議会が全員支給を決定したら、それに従うか。  
**市長** 議会が節目支給をやめ、全員支給を決定すればその方向で検討する。

## 市道・農道沿いの土手の雑草の有効利用を

**問** 市内の市道農道の伐採費用は全体でいくらか。  
**市長** 平成19年度で業者、シルバー人材センター、



土手の雑草利用によるたばこ耕作組合の堆肥作り

自治会まで含めて6,186万円、農道は445万円である。  
**問** 毎年合計で6,500万円の経費がかかっている。このカヤやホトクイ等の雑草を牛の飼料や堆肥化はできないか。  
**市長** 現在農家の方も利用しているところもある。この雑草を飼料としての梱包化はできない。堆肥化も施設が必要となるの  
できないと考える。

## 田畑の売買における税の軽減を

**問** 田畑の売買において、百万円の特別控除制度が廃止され、農業委員会の斡旋<sup>あっせん</sup>以外は、国保税、介護保険料まで影響がある。独自の軽減策はできないか。  
**市長** 土地売買の一時所得なので課税の方向で進めていく。  
**問** 昨年の大隅のお年寄りの方が介護施設に入っている方が介護料を支払うのに畑を売った。50万円で売ったのに今年は42万円も高い施設料となった。特別な状況なので減免できないか。  
**市長** 現行の介護保険制度では、一時所得の申請減免をできないところである。

## 地域振興住宅入居と建設

**問** 7月1日より地域振興住宅の募集があったが、結果は。  
**市長** 市外の方が12名、市内が10名の22名であった。市外の12名のうち、10名を決定した。



大隅町岩川の河原団地<sup>こぼる</sup>

**問** 市外の方でも今回柳迫を希望したのに、入居できなかった。補正を含めて対応すべきではないか。  
**市長** 今回は子どもの年齢の高い方から選定した。来年度も建設するので応募してほしい。

# 物価上昇による 経済状況は

市長／農家の経営に多大な影響を  
及ぼしている



迫 杉雄 議員

## 迫杉雄議員

公共施設に

南九州コココーラから地域支援なる自販機設置の要望が出されているようですが、現在、設置されている地元業者などの意向を踏まえてどう対応するのか。

池田市長 以前にもココ



公共施設に設置されている自動販売機

コーラから同様の内容で設置の要望があったが、地元業者育成の観点から断った経緯がある。今回も商工会等との兼ね合いがあるので断った。

**問** 食糧自給率・飼料自給率・遊休農地に対して、今後どのような施策で対応されるか。

**市長** 畜産の飼料が、バイオエタノール等の影響を受けている。農地の有効利用の観点から遊休農

地を活用していきたい。現在一筆ごとに調査を行っており、飼料自給率の向上を図る。

**問** 今後、県内外に先駆けて、飼料米の栽培に取り組み、畜産のまちをアピールすべきではないか。

**市長** 現段階では飼料米の配合的なもの、栄養価なども不明瞭であること、また転作との兼ね合いもあることから、今は考えていない。

**谷元産業経済部長** 今後いろいろと調査したいと思う。

**問** 物価上昇に伴い、市民から市長への提言はどうなっているか。

**市長** 重油、飼料、肥料等の高騰は、特に農家の経営に多大な影響を及ぼしている。そのため、国、県、市の補助事業や資金の問い合わせ、施設園芸の生産コスト削減のため、省エネ暖房技術の開発の照会等数件ある。

## 共生・協働のまちづくりは

**問** 共生・協働のまちづくりが市報の欄で広報されているが、どのように市民に浸透しているか。

**市長** 共生・協働のまちづくりは、平成19年度から取り組んでいる。この活動を広く市民に理解してもらい活動に参加してもらおうよう、現在まで市報に掲載してきた。

自治会、ボランティア

団体、地域づくりグループ、企業と行政が相互理解と信頼のもと、連携協力して地域の発展に臨む。少しずつではあるが、活動の輪が広がっている。

**問** 職員による自治会や地域サポート制度はどう考えているか。

**市長** 各職員が地域にどれだけがんばっているかが、今後も活躍してくれる。



厳しい経営を強いられる畜産農家

# 原油高騰対策は

市長／国会議員を通して  
国へ強く要請していく



原田 賢一郎 議員

**原田賢一郎議員** 原油高騰対策について、議論検討をどの程度されたか。

**池田市長** 議論検討は随時行っている。

**問** 畜産、園芸、茶農家等に対する救済措置をどうとるのか。

**市長** 畜産については、この危機的状況を見ると市として対応できるものではない。そのため県、市、JA等、関係機関と連携して国会議員等を通して国へ強く要請している。

園芸については、施設園芸農家に対し、園芸振

興補助金を活用した、市の単独支援を続けていく。

茶農家については、燃費の削減効果をもたらすため、ラインの改良や生葉管理装置の改良等を要望し、茶基金の活用等、支援措置を講じていく。

**問** 目に見える形で、市

独自の救済措置はとれないか。

**市長** 国の救済措置が、打ち出されたので、生産コストを下げるための増頭または規模拡大をする農家に支援していきたい。市独自にはとれないと思

## 霧島市一般廃棄物管理型最終処分場の経過は

**問** 霧島市一般廃棄物管理型処分場について、大隅町の2会場において住民説明会があったが、そ



霧島市最終処分場建設の説明を受ける曾於市議員

の結果を踏まえ市長はどう判断され、今後どう舵を取っていくのか。

**市長** 現時点で意見を述べることは、総合的に判断し適切でない。説明会の結果を踏まえ、大隅地域住民の考えや思いも十分理解できたので、今後は市民の意見や動向を見極め、議会の意見も聞きながら最終的な考えを示す。

## 種雄牛造成の現状は

**問** 肉用牛改良研究所が飼育している種雄牛は何頭で、子牛市場の民間と県有種雄牛の出場割合は。

**市長** 種牛24頭、種牛待機牛50頭で、人工授精割合の推移は、県有牛39%、民有牛58・5%、その他25%である。

**問** 肉用牛改良研究所の種雄牛造成の成果をどう認識されているか。

**市長** 「金幸」が平成10年に脂肪交雑40で全国1位、平成19年「吾平藤」が脂肪交雑（※注1）44で全国1位となり、昨年開催



期待される肉用牛改良研究所

された全国和牛能力共進会で、「宮貞福」が、農林水産大臣賞を受賞しており、今後の活躍が期待されている。

**問** 購買者から望まれる種雄牛造成をもっと要請できないか。

**市長** 要望をお願いすることは大事なことである。

## 池田市政の評価は

**問** 池田市政の4年目を振り返り評価する点と反省点は。

**市長** 評価すべき点は、曾於市誕生という重要な時期で地域の均衡ある発展に配慮し、各主要計画を十分踏まえ新生曾於市の形づくりができた。

反省点は職員による不祥事、市の施設内やイベント、また災害復旧工事等での事故が発生した点である。

※注1・脂肪交雑

牛肉の霜降り（サシ）のこと

# 敬老の意思表示を

市長／感謝と尊敬の思いを強くしている



土屋 健一 議員

**土屋健一議員** 敬老精神が低下している。市内における敬老会の実施状況は。  
**池田市長** 大隅地区で2校区と30自治会、末吉地区で8校区、財部地区で1校区と41自治会で実施されている。



高齢者とのふれあい活動（財部北小）

**問** 市として敬老の意思をどう表明されるか。  
**市長** 長年にわたり、社会貢献された方々の長寿を喜んでいる。70歳から節目にお祝い金を支給する。  
**問** 学校教育で敬老精神の高揚は図られているか。  
**植村教育長** 極めて大切な問題。道徳教育により敬愛する心、家族を想う心を育て実践力の育成に努めている。高齢者を招

いての学習、施設訪問、年賀状活動等積極的に行っている。今後も敬老精神が高まる教育に努める。  
**問** 各自自治体における敬老祝い金の状況は。  
**市長** 県内46市町村で70歳からの節目支給は本市と十島村。80歳からの節目支給が多い。全員支給は80歳以上が多く、離島がほとんどである。  
**問** お年寄りへの市長メッセージを。

**市長** 長年国と郷土のために尽くされたことに感謝と尊敬の意を表し、長寿をお祝いし末永いご健康とご多幸を祈る。

## 公園・市道の管理は

**問** 公園の機能は保たれているか。定期的に調査されているか。  
**市長** 都市公園の13カ所や運動公園、各名所も広場や遊具を備え、積極的に利用されている。遊具は年1回の点検を委託している。便所の清掃や紙の補充は随時行っている。十分な管理に努める。

**問** 市道の歩道がヤブになっているところがあるか。  
**市長** 市街地から離れたところに見られる。夏場は作業が追いつかない。散歩やジョギングが多いところは、早急に対処する。

## 乳幼児医療費の自己負担を都城市と同じに

**問** 小児科は都城市内の病院を利用する市民が多

い。自己負担の取り扱いは都城市民が恵まれているのではないか。違いを認識されているか。  
**市長** 曾於市は全額支払った自己負担分を後日払い戻す方式。都城市は350円だけを支払えば、残りは市が医療機関へ支払う方式となっている。

**問** 都城方式に改善する考えはないか。  
**市長** 県によって異なる。鹿児島県の方針もある。

**問** 県境に住む住民の実情を理解できるか。早急に検討できないか。  
**市長** 十分理解できる。できるだけ早く検討したい。



幼児の診察風景

# 原油・飼料・物価高、なぜ積 極的支援策をとらないのか

市長／多大な費用は  
国にお願いしている



徳峰 一成 議員

**徳峰 一成議員** 6月、9

月市議会とも市長は市民の暮らしを守る積極支援策を、なぜ行わなかったのか。

**池田市長** 多大な費用を要するものは、国へお願いし、市は計上しなかった。

**問** 市長は厳しい市民生活に対する受け止めが、大変弱いではないか。いまだに市はプロジェクトチームすら作っていないではないか。

**市長** 今後は作る方向で進めたい。  
**問** 積極支援策を行う財



市の委託を受けている思いやりタクシー

源の支出は、いくら可能か。  
**市長** 財源は予測していない。  
**問** 農業機械などに課税している年間数千円のもの

償却資産(※注1)は、減税していくべきではないか。  
**市長** 財政が厳しくできない。  
**問** 市民税や固定資産税、国保税の減免規定は、実情に合わず適用例がない。今年のお茶農家は4割減収である。減免規定を見直し、農家や市民に対して弾力的に運用すべきではないか。  
**市長** 検討したい。

**問** 思いやりタクシーや市から原油を購入している業者が赤字の場合、市は業者の保護を行うべきではないか。  
**中山副市長** 12月頃を目途にそうしたい。

## 敬老祝いの金全員支給を

**問** 1万人を超える署名を尊重しない、あるいはアンケートをとる意思もない。これでは市長は市民を軽視していることにならないか。  
**市長** 節目支給は、合併協議会や議会で決まったことであり、それに従っている。

## 職員の意見を考慮に入れた人事異動を

**問** 合併後のわずか3年間に、2回異動の職員が50人、3回異動の職員が13人の異動がみられる。職員の意見を考慮に入れた異動に変えるべきではないか。  
**市長** 今後ご指摘の意見は、頭に入れて考えていきたい。



曾於市役所本庁舎2階風景

**問** 職員のあらゆる意見を聞き職員をよく知ることとは、市長にとってもマインナスにならない。今後検討して頂きたい。  
また定年前にした課長や職員の異動がみられる。これは考え直すべきではないか。

※注1・償却資産  
工場や商店の経営、農業をしている方が、その事業に用いることのできる施設、機械、器具、備品のこと

**市長** 今後十分配慮していきたい。

# 畜産の振興は

市長／5項目で補助を実施している



松田 司 議員

**松田司議員** 原油の高騰により農畜商工業並びに市民に大変な影響を与えている。現在の畜産状況をどう捉え、その対策はどう考えているか。

**池田市長** 農業用資材や配合飼料の高騰により厳しい状況である。特に肥



飼料稲のニシアオバ（末吉町深川後迫）

育養豚養鶏農家にとっては、大変厳しい状況にあると思う。酪農肉用牛生産農家においては、粗飼料、自給飼料の生産拡大を推進し、コスト削減を図るよう指導していく。また、支援策として、県に要請していきたい。

**問** 現在、配合飼料の価格高騰により、肉用牛や酪農経営に多大な影響を与えている。飼料作物の生産拡大も有効である。

休耕田等に飼料用稲も含まれた自給飼料の増産に向けた対策が必要ではないか。

**市長** 旧末吉町で県内で初めて試作した経緯もあり、今後検討していく。現在も作付けしている農家もあるため、飼料用稲は転作として認められているので普及を検討する。

**問** 高齢化や配合飼料の高騰、子牛の価格低迷が生産農家の意欲の減退が

考えられ、思い切った政策が必要ではないか。

**市長** 現在、曾於市単独事業を実施し、曾於市畜産振興協議会の支援策として、5項目で補助を実施している。

**問** 畜産農家の平均年齢67歳、飼養頭数10頭以下が8割である。小規模畜舎改善素牛導入増額補助、80歳以上の引付補助の増額など考えられないか。

**市長** 前向きに検討したい。

## 農産加工施設の整備について

**問** 大隅町に南地区農業構造改善センターと婦人の家があり、2カ所とも管理指導者も不在のため利用者も少ない。北校区公民館では、平成18年7月13日付で、市長宛に施設整備について陳情書が提出されているがその対応策は。

**市長** 市内全施設が築20年をすぎているので、総合的に検討していく。

**問** 曾於市内に7加工施

設があり、末吉町は3カ所にとともにシルバー人材センター委託で管理。管理者、指導者各1名、財部町指導者1名、大隅町管理指導者なし。平成19年度施設利用者数は財部1,176人、末吉5,628人、大隅1,899人。合併して3年2ヵ月がす

ぎているが、安心安全な加工施設の整備管理が必要ではないか。

**市長** 現在まで旧町の継続で管理していたが、今後見直す必要があるのではないかと検討したい。



加工場でのみそづくり（末吉町深川研修センター）



# 生産資材高騰による 農家への支援策は

市長／園芸振興事業で対応する



瀬戸口 三郎 議員

**瀬戸口三郎議員** 肥料、重油や生産資材の高騰と農産物価格の低迷により、苦しい農家経営が強いられているが、その対策をすべきではないか。

**池田市長** 園芸農家等への支援は市単独の園芸振興事業で今後も対応していきたいながら、貸付金の利子補給事業等も必要があれば12月議会で予算措置していく。

**問** 圃場ごとの土壌診断を強化すべきではないか。

**市長** 不必要な肥料投入の低減につながり大事だと思われるので、職員



重油高騰が心配されるハウス農家

増加も加えて強化する。

**問** 肥料、農薬の畦間施肥の機械導入に助成はできないか。

**市長** トラクターのメンテナンスは、多種多様

であることから対象としていない。県が認定する認定農家であれば制度資金もある。

**問** ハウスの省エネ対策に取り組めないか。

**市長** 原油価格の高騰による燃料費の増加が、施設園芸に大きな影響を及ぼす恐れがあり、支援していきたい。今後全力を尽くして、畑かんをいかしてハウス園芸の振興に取り組む。

**問** 有機センターの堆肥を当分の間、50%の補助率として普及できないか。

**市長** 今、利用者が増加しているが、今の20%を50%の助成については、利用状況を見ながら判断していきたい。

また、今までは畜産を中心に取り組んできたが、畜産の排泄物の処理も合わせながら、今後園芸等の耕種作物の普及に力を入れる。

## 食育と消費拡大は

**問** 市内の飲食店の活性化への取り組みと、地元農産物の消費拡大を合わせて進めるべきではないか。

**市長** 飲食店と地産地消を進めるべく、県が進めている。推進店の登録を市内にもっと増やして活性化していきたい。

**問** 学校での食育の一環として、農業理解事業や学校給食での地産物の利



現在、市唯一の店（財部町古里庵）

用も含めて取り組むべきではないか

**植村教育長** 学校においては、楽しい食事や給食活動を通して豊かな心を育成することは、極めて主要なことであり、積極的に推進していく。

は、給食への地産物の活用や各学校の食に関する取り組みを積極的に支援し、食育の充実に努めていく。

体験活動や栄養教諭による栄養指導をしながら、市教育委員会として